INOEL Yamagata University Innovation Center for Organic Electronics

OES Organic Electronics Saxony

SAXONY! A Place in Motion

WIRTSCHAFTSFÖRDERUNG SACHSEN

第 9 回　日・独ジョイントワークショップ

“フレキシブル印刷エレクトロニクスとセンサー”

2021 年 2 月 26 日

ドイツ時間 08:30-11:30, 日本時間 16:30-19:30

主　催:　ドイツ連邦共和国ザクセン州経済振興公社、ザクセン州有機エレクトロニクス協議会、国立大学法人 山形大学

場　所:　オンライン開催

基調講演 08:30 – 09:30 CET / 16:30 – 17:30 JST

08:30 CET/16:30 JST　**開会挨拶 ドイツ・ザクセン州経済振興公社 総裁 Thomas Horn**

08:35 CET/16:35 JST　**来賓挨拶 ドイツ連邦共和国大使館　参事官 科学技術担当 Dr. Lothar Mennicken**

08:40 CET/16:40 JST

Prof. Karl Leo
ドレスデン工科大学 ドレスデン応用物理・フォトニック材料統合センター (IAPP)
「新規応用を目指した有機材料をベースにしたセンサーとトランジスタ」

09:05 CET/17:05 JST

Prof. Junji KIDO
山形大学　有機材料システムフロンティアセンター (FROM)
「センター・オブ・イノベーション（COI）プロジェクトの有機 EL」

日・独パラレルセッション 09:30-10:30 CET / 17:30-18:30 JST

日本 セッション

- 09:30 CET / 17:30 JST
  株式会社 MORESCO、Junichi YANO「Wet 方式のフレキシブル OPV プロセスについて」
- 09:45 CET / 17:45 JST
  ニシム電子工業株式会社、Yuki WAKIYAMA
  「農業の課題を解決する農業 IT センサー『MIHARAS』」
- 10:00 CET / 18:00 JST
  ネクスビジョンテクノロジーズ株式会社、
  Kosuke TOMITA, Toshiyuki OHNO「モビリティ業界におけるスタートアップのビジネスチャンス」
- 10:15 CET / 18:15 JST
  東芝デバイス＆ストレージ株式会社、
  Hideaki DAIKO「新しいデバイスに関する世界市場での急成長と期待」

ドイツ セッション

- 09:30 CET / 17:30 JST
  ORELTECH 社、Dr. Konstantin Livanov「プラズマによる金属被覆技術：印刷エレクトロニクスの将来」
- 09:45 CET / 17:45 JST
  InnovationLabss 社、Dr. Florian Ullrich,「印刷した有機系センサーによるデンタルケアのデジタル化」
- 10:00 CET / 18:00 JST
  Freudenberg Industrie Siebdruck 社、
  Sebastian Gepp「フレキシブルエレクトロニクスとスクリーン印刷を用いた応用について」
- 10:15 CET / 18:15 JST
  ドレスデン工科大学 ITM、Dr. Michael Wöltje
  「医療デバイスへの展開を目指したテキスタイルセンサーの構造と吸収性基材に関して」

ポスターセッション & 交流 10:30 – 11:30 CET / 18:30 – 19:30 JST

10:30 CET/18:30 JST　日独連携によるポスターセッション概要紹介
ザクセン州有機エレクトロニクス協議会 Dr. Dominik Gronarz

10:35 CET/18:35 JST　ブレイクアウトセッションへの参加（移動）の仕方の説明

10:40 CET/18:40 JST　ポスターセッション第 1 部 – 20 分

R1-01. **ドレスデン工科大学 IAPP、Prof. Karl Leo** (基調講演者質疑応答)

R1-02. **Freudenberg Industrie Siebdruck 社、Sebastian Gepp**
(ドイツセッション講演者質疑応答)

R1-03. **InnovationLab 社、Dr. Florian Ullrich** (ドイツセッション講演者質疑応答)

R1-04. **ネクスビジョンテクノロジーズ株式会社、Kosuke TOMITA, Toshiyuki OHNO**
(ジャパンセッション講演者質疑応答)

R1-05. **株式会社 MORESCO、Junichi YANO** (ジャパンセッション講演者質疑応答)

R1-06. **Adenso 社、Maria Esche**「ロール to ロール法によるフレキシブルエレクトロニクス –いろいろな形にできるエレクトロニクスと薄膜ガラスセンサー」

R1-07. **EMBEGA 社、Iñaki Braco**「EMBEGA 社の機能性スクリーン印刷技術」

R1-08. **Heliatek 社、Dr. Karsten Walzer**「フレキシブルな薄膜ガラス上への大面積有機 EL 作製」

R1-09. **フラウンホーファー IWS、Dr. Wulf Grählert**「バリヤー性の短時間計測法」

R1-10. **IMAZ Technology Innovation 社、Dr. Maziar Ahmadi**「スマート手袋　最適な健康モニタリングシステム」

R1-11. **藤倉化成株式会社、David Dewey**「DOTITE　伸縮性ペースト - 課題と進化」

R1-12. **ゼネラル株式会社、Masaru YAMASHITA**「さらなる RFID の可能性 - RFID ボルト＆ネジの紹介」

R1-13. **山形大学、Prof. Takeshi SANO**「透明・多色有機薄膜太陽電池」

R1-14. **ザクセン州経済振興公社「交流セッション」、日本代表部 代表 Kurando OGI**
「注目される欧州技術のビジネス拠点」

R1-15. **ELANTAS 社、Mark Abendroth**「導電性及び絶縁性インクに関する ELANTAS 社の新開発」

11:00 CET/19:00 JST　休憩 5 分

11:05 CET/19:05 JST　ポスターセッション第 2 部 – 20 分

R2-01. **山形大学 FROM、Prof. Junji KIDO** (基調講演者質疑応答)

R2-02. **東芝デバイス＆ストレージ株式会社、Hideaki DAIKO**
(ジャパンセッション講演者質疑応答)

R2-03. **ニシム電子工業株式会社、Yuki WAKIYAMA**
(ジャパンセッション講演者質疑応答)

R2-04. **ドレスデン工科大学 ITM、Dr. Michael Wöltje** (ドイツセッション講演者質疑応答)

R2-05. **OrelTech 社、Dr. Konstantin Livanov** (ドイツセッション講演者質疑応答)

R2-06. **三菱ケミカル株式会社、Iodi DOI**「柔軟性および伸縮性エポキシフィルムの開発とプリンテッドエレクトロニクスへの応用展開」

R2-07. **山形大学 YU-FIC、Prof. Tadahiro FUFUKAWA**「印刷およびロールツーロール技術をベースとしたコンソーシアム “YU-FIC” の紹介」

R2-08. **Inuru 社、Marcin Ratajczak**「印刷エレクトロニクスによる入れ込みやすいスマート包装とラベル」

R2-09. **Kurt-Schwabe-Institut for Measuring and Sensor Technology Meinsberg 社、Dr. Caroline Murawski**「フレキシブルな有機 EL を用いた脳をインターフェースする」

R2-10. **九州大学 OPERA SOLUTIONS Inc.、Dr. Kentaro HARADA**「OPERA SOLUTIONS の最先端試作品」

R2-11. **NAITEC 社、Dr. Rakel Herrero**「NAITEC 社の印刷エレクトロニクス技術」

R2-12. **ザクセン州有機エレクトロニクス協議会、Jitka Barm**「EU-NE4Health project 概要」

R2-13. **ザクセン州経済振興公社、Armin Reith**「世界をリードするマイクロエレクトロニクスと ICT 集積地としてのザクセン州」

R2-14. **Umi-Hotaru 社、Claudio Flores**「Umi-Hotaru: 生体から模倣された有機 EL」

R2-15. **microfluidic ChipShop 社、Dr. Holger Becker**「未解決課題である微小流体力学における高精細で安価な電極」

11:25 CET/19:25 JST　閉会挨拶 (Dr. Gronarz and Prof. Takahashi) と記念撮影

11:30 CET/19:30 JST　終了

司会進行:

ザクセン州有機エレクトロニクス協議会 Dr. Dominik Gronarz
山形大学 Prof. Tatsuhiro Takahashi

使用言語: 英語

Special Support by
SmaSys Secretariate members
iFlex
Innovative Flex Program for Doctoral Course